

---

**電子操業日誌「PlantLogMeister」の新シリーズ製品として  
操業管理と密連携する「設備管理パッケージ」を販売開始**  
- 操業情報、設備情報、工事情報の効率的な管理が可能 -

---

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEiC)(社長:山脇 雅彦)は、電子操業日誌「PlantLogMeister(プラント・ログ・マイスター、以下PLM)」\*1の新シリーズ製品として、設備保全管理の機能を搭載した「設備管理パッケージ」を開発、2020年度上期から販売を開始します。

「PLM」はアナログ(手書き)で運用されている工場・プラントの運転日誌のデジタル化を支援する製品です。製造現場のナレッジデータの有効活用と業務効率化を目的として、すでに300パッケージ以上の納入実績\*2を有しています。従来は主に工場・プラントの製造部門を中心に活用されていましたが、設備保全部門からも操業情報と設備管理情報を一元的に管理するニーズが高まっていました。

製造業においてDX(デジタルトランスフォーメーション)やスマート保安による安定操業が重要な経営課題となっている現在、今回開発した「設備管理パッケージ」は、設備保全管理に必須な機能を備え、製造部門が保有する設備に関する操業情報との連携が可能な製品です。本パッケージにより、より効率的な保全マネジメントが可能となり、工場・プラントの安定操業と省人化に貢献します。

#### <製品の特長>

##### ①設備保全のPDCAサイクルを回すための機能を標準で搭載

突発的な機器故障により、工場・プラントの生産中止に至った場合、企業経営に甚大な影響を与えます。こうした事態を回避するために、適切なPDCA(計画・実行・確認・見直し)サイクルの下、設備を計画的に保全する必要があります。「設備管理パッケージ」は以下の標準機能を有し、PDCAサイクルに沿った保全活動をサポートします。

- Plan(保全計画立案): 保全計画、保全費用、保全依頼、保全受付、実施計画、機器台帳管理、予備品管理
- Do(保全作業実施): 作業指示、作業報告
- Check(保全結果分析): 修理報告書、保全履歴、ダッシュボード
- Act(分析結果反映、改善): 改善案件管理

##### ②操業情報との連携が可能

従来、製造部門の操業情報と連携できる設備保全管理システムは少なく、製造部門では、依頼した保全依頼の進捗が見えない、設備保全部門では、製造部門だけで解決した保全情報の共有ができないといった課題がありました。「設備管理パッケージ」は製造部門向けのPLMシリーズ製品と組み合わせることで、製造部門と設備保全部門で、保全依頼の進捗や保全情報などをリアルタイムで共有でき、操業情報と設備管理情報を一元管理できます。

③PLMシリーズ製品や外部システムと組み合わせることで更なる保全業務の効率化

PLMシリーズ製品である「工事管理パッケージ」と組み合わせることで、設備保全とは切り離せない工事関連情報の管理もできるようになり、工事施工会社も含めた業務効率化を支援します。また、PLMと外部システムとのデータ連携に必要な開発キット(Software Development Kit: SDK)を提供しており、PLM以外のシステムとの連携についても対応可能です。

産業第一システム事業部 産業第一営業部 部長 北中 快昌

「PLMは工場・プラントの操業日誌のデジタル化を支援する製品として 2011 年にスタートしました。今回開発の『設備管理パッケージ』の提供で製造現場のDX加速に貢献をします。PLMシリーズとして 2025 年までに 5,000 パッケージの受注を目指し、今後ともより一層お客様の課題解決に貢献できるメニュー拡充に努めていきます。」

\*1) 「PlantLogMeister」は東芝三菱電機産業システム株式会社の日本における商標です。

\*2) 2020 年 6 月時点。

## 報道関係からのお問い合わせ先

---

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <http://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。